

## 道徳科学習指導案

- 1 学級 第1学年1組 男子5名 女子9名 計14名
- 2 主題名 「やさしいところ」 B 親切, 思いやり
- 3 ねらい 他者が喜べば自分もうれしくなる心が思いやりの心のものであることが分かり, 思いやりの心をもって人に親切にしていこうとする態度を育てる。
- 4 教材名 「はしのうえのおおかみ」
- 5 主題設定の理由

### ○主題観

「親切にすること」は、表面的な行為であり、その行為を生むものは、思いやりの心である。それは、他者に関心をもち、他者の気持ちを理解しようとする心である。思いやりの心が強くなれば親切な行為は自然に生まれる。したがって、親切という行為は、思いやりの心によって生まれてこそ、道徳的になり、善になると考えられる。

小学校に入学し生活が身に付いてきたこの時期に、身近な人に優しい心で接し、相手のことを考える温かい気持ちや親切な行為について考えさせたい。

### ○児童観

本学級の児童は、明るく友達に接し、友達の輪を広げつつある。また、異学年と交流するなかよしグループの活動では、みんなで力を合わせて活動することの楽しさを知り、進んで活動できる児童も多い。しかし、自分が先にと、友達を押しつけてしまう場面も見られる。

そこで、親切な行為に対して、どのように考えているのかを知るために児童にアンケートを行った。

### 【アンケート項目】

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ○人に親切にしてもらったことについて |                      |
| ①                  | 人に親切にしてもらったことがありますか。 |
| ②                  | どんな親切ですか。            |
| ③                  | 親切にしてもらってどんな気持ちでしたか。 |
| ○人に親切にしたことについて     |                      |
| ①                  | 人に親切にしたことがありますか。     |
| ②                  | どうして親切にしたのですか。       |

## 【アンケート結果】

| ○人に親切にしてもらったことについて  |  |    |        |    |     |     |   |
|---|--|----|--------|----|-----|-----|---|
| ① 人に親切にしてもらったことがありますか。  | <p>①</p> <table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>はい</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>7</td> </tr> </table>  | 回答 | 割合 (%) | はい | 93  | いいえ | 7 |
| 回答  | 割合 (%)   |    |        |    |     |     |   |
| はい  | 93   |    |        |    |     |     |   |
| いいえ   | 7  |    |        |    |     |     |   |
| ②どんな親切ですか。  |  |    |        |    |     |     |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室に連れて行ってもらった</li> <li>・一人ぼっちの時、遊んでくれた</li> <li>・忘れたものを貸してもらった</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがをした時、大丈夫と言ってもらった</li> <li>・泣いている時、心配してくれた</li> </ul>   |    |        |    |     |     |   |
| ③親切にしてもらってどんな気持ちでしたか。   |  |    |        |    |     |     |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしかった</li> <li>・友達は親切だなと思った</li> <li>・してもらって「ありがとう」と思った</li> </ul>   |  |    |        |    |     |     |   |
| ○人に親切にしたことについて  |  |    |        |    |     |     |   |
| ① 人に親切にしたことがありますか。  | <p>②</p> <table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>はい</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>0</td> </tr> </table> | 回答 | 割合 (%) | はい | 100 | いいえ | 0 |
| 回答  | 割合 (%)   |    |        |    |     |     |   |
| はい  | 100  |    |        |    |     |     |   |
| いいえ   | 0  |    |        |    |     |     |   |
| ②どうして親切にしたのですか。   |  |    |        |    |     |     |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変そうだったから</li> <li>・道具がなくて学習ができないから</li> <li>・痛そうだったから</li> <li>・いじわるをされていたから</li> <li>・かわいそうだから</li> <li>・悲しそうだから</li> <li>・困っていたから</li> </ul> |  |    |        |    |     |     |   |

このように、ほとんどの児童が様々な場面で親切にしていることが分かった。ただ、自己中心的で相手の立場や気持ちがどうであるかは考えず、親切にしていると思い込んでいることも多いと考える。友達に好かれる人間になろうとする心は大切であるので、その心を生かしながら思いやりの心の大切さを認識させたい。

### ○指導観

本教材は、意地悪な「おおかみ」が主人公である。いばっていたおおかみが、くまの思いやりの心に触れることで、自己を誇示し弱者を卑下しようとする心から、他者を支える喜びを自分の喜びとする心へとかわっていき変容について考えさせたい。低学年の児童は、自分の気持ちを優先してしまい、相手の思いが考えられないわがままな行動をとってしまうことがある。相手の思いを自分事として捉え、親切にする行為の内面にある思いやりの心を考えさせることができる教材である。

本教材に含まれていると考える道徳的価値は、次のとおりである。

### 【この教材に含まれる道徳的価値】

- ◆ 誰にでも、自分の気持ちを優先し、相手の思いを考えられないことはある。
- ◆ 周りの人が気持ちよくないと、自分も本当に気持ちよく生活できない。
- ◆ 他者を支える喜びを自分の喜びとする思いやりの心が大切である。

指導に当たっては、道徳的判断力を育成するための発問として、「初めのおおかみとくまと出会った後のおおかみは、どちらも「いい気持ち」になっていますが、なにがちがうのでしょうか。」を設定した。おおかみの気持ちの変容について問うことで、くまの思いやりの心に触れたおおかみが思いやりをもって親切にした後の「いい気持ち」に気づいたことを押さえる。その際、相手が喜ぶと自分もうれしいという思いやりの心を理解できるようにさせたい。

さらに、より多面的・多角的な気づきが発言されるよう、「どちらの『いい気持ち』になりたいと思いますか。」という補助発問を行い、ペアで話し合う場を設定することで、価値理解を深める。

また、本学級の児童は、9月から以下のようなユニットを組み、学習を進めている。いろいろな内容項目を組み合わせ、関連付けて考えることによりユニットテーマである「仲よく」に迫りたい。

【ユニットとの関連】 ユニットテーマ「仲よく」

|             | 教材名                  | 内容項目・主題名                            | ユニットとの関連  |
|-------------|----------------------|-------------------------------------|---|
| 第1時         | ぼくはいかない              | A 善悪の判断, 自律, 自由と責任<br>「ただしいことはすすんで」 | よいと思ったことは, 小さなことでも周りに遠慮しないで積極的に行おうと考える。                             |
| 第2時         | わきだしたみず              | D 生命の尊さ<br>「たすけずには いられないところ」        | 命を助けようとするかへの行動を考え, 自他の命を大切にしようとする意欲を高める。                            |
| 第3時         | すてきなことば<br>「あふたあ ゆう」 | C よりよい学校生活, 集団生活の充実<br>「がっこうをたのしく」  | 明るく楽しい学校にするために, 自分たちにできることをやりたいと思う気持ちをもつ。                           |
| 第4時<br>(本時) | はしのうえの<br>おおかみ       | B 親切, 思いやり<br>「やさしいところ」             | 意地悪をしないで親切にすると, 相手も自分もうれしい気持ちになることに気づき, 思いやりの心をもって親切にしていくことの大切さを学ぶ。 |

## 6 他の教育活動などとの関わり

小学校 第1学年及び第2学年 B 親切, 思いやり  
身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。

### 道徳

- ・9月「おとしよりといっしょに」 10月「やさしいところ」

### 国語

- ・9月「かいがら」

### 生活

- ・2月「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう」

### 学級活動

- ・1月「よろこんでくれるかな」

小学校 第3学年及び第4学年 B 親切, 思いやり  
相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。

小学校 第5学年及び第6学年 B 親切, 思いやり  
誰に対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にすること。

中学校 B 思いやり, 感謝

思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。

7 学習指導過程

| 段階 | 学習活動   | 主な発問と予想される児童の心の動き<br>(○基本発問 ◎中心発問 ●補助発問)   | ○指導上の留意点<br>☆評価の観点  |
|----|--|--|---|
| 導入 | 1 「先にどうぞ」と言われた場面について考える。   | ○「先にどうぞ」と言われたら、どんな気持ちでしょうか。<br>・ゆずってもらってうれしい。<br>・優しいなあ。<br>・親切だなあ。  | ○親切にしてもらった体験を思い起こすことで、価値への方向付けをする。  |
|    |  | 課題 あいてがよろこぶと、じぶんはどうかな。   |   |
| 展開 | <p>2 教材「はしのうえのおおかみ」を読んでおおかみの行動について話し合う。</p> <p>(1) 意地悪をする時のおおかみの気持ちを考える。</p> <p>(2) くまの後ろ姿を見ているおおかみの気持ちについて考える。</p> <p>(3) うさぎをそっとおろしたときのおおかみの気持ちについて考える。</p> <p>(4) 初めと後のおおかみの「いい気持ち」のちがいについて考える。</p> | <p>○「もどれ、もどれ」と言って追い返したおおかみは、どんな気持ちでしょうか。</p> <p>・おれは強いんだぞ、いい気持ちだ。</p> <p>・意地悪をすると面白いな。</p> <p>・みんな弱いからいばってやれ。</p> <p>○くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>・くまさんって、強いのにいばらないんだ。</p> <p>・親切にされるとうれしいなあ。</p> <p>・意地悪をしたとき、きっとみんないやだっただろうな。</p> <p>・ぼくも、みんなに親切にしようかなあ。</p> <p>◎ うさぎをそっとおろしたおおかみは、どんな気持ちでしょうか。 【ユニットノート①】</p> <p>・うさぎさん、うれしそうだったなあ。</p> <p>・親切にすると気持ちいいんだ。</p> <p>・いじわるするより、みんなが喜んでくれると気持ちいいなあ。</p> <p>●初めのおおかみと、くまと出会った後のおおかみは、どちらも「いい気持ち」になっていますが、なにがちがうのでしょうか。</p> | <p>○電子黒板を使い資料の提示をする。また、黒板に登場人物を登場させ話の内容を確認しながら授業を進めていく。</p> <p>○ペープサートを使って、意地悪をされたうさぎの気持ちも考えさせる。</p> <p>○くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみの気持ちを考えさせる。</p> <p>○ペープサートを使って、優しくしてもらったうさぎの気持ちも考えさせる。</p> |

|    |                                 |   |  |
|----|---------------------------------|---|--|
|    |                                 | <p><b>初めのおおかみ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弱い者いじめをしている。</li> <li>・強いと思って、いばっている。</li> <li>・みんなに意地悪をしていい気持ちになっている。</li> </ul> <p><b>後のおおかみ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなにやさしくしている。</li> <li>・みんなに優しくしていい気持ちになっている。</li> <li>・くまにしてもらったので、思いやりの心でいい気持ちになることが分かった。</li> </ul>   | <p>○くまの思いやりの心に触れたことで、おおかみがそのよさに気付いたことを押さえる。</p> <p>☆相手が喜ぶと自分もうれしいという思いやりの心が分かった。</p>   |
| 終末 | <p>3 自分の行動や心情を支える道徳的価値に気づく。</p> | <p>○相手が喜ぶと自分はどうでしょうか。 【ユニットノート②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が喜ぶと自分もうれしくなる。</li> <li>・意地悪したときのいい気持ちとちがう。</li> <li>・みんながうれしくなる。</li> </ul> <p>●どちらの「いい気持ち」になりたいと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後の「いい気もち」は、優しいからいい。</li> <li>・相手が喜ぶと自分もうれしいという思いやりの心をもっているから、よい「いい気持ち」。</li> <li>・初めの意地悪をしていばっている「いい気持ち」は、いや。</li> <li>・相手が困っているのを楽しんでいる「いい気持ち」だからいや。</li> </ul> | <p>○ユニットノート①に記入したおおかみの考えと重ね合わせて書くことで、自分事として考えさせることができる。</p> <p>○根拠を説明させ、ペアで対話活動を行うことで、よりよい方向を選択できる道徳的判断力を高める。</p> <p>☆思いやりの心をもって、気持ちよく生活する意欲をもつ。</p> |

8 板書計画

